

私はお化けじゃ

ありません

写真・ノール・アイザ・アバス
Noor Aizah Abas

イスラム教の教え

突然、ラジオからコーランの音が入り、目覚まし時計もいつものように大きい音で私を起こしてくれた。夢から覚めて、ラジオと目覚まし時計をOFFにして、時計の針を見つめる。ああ……もう四時半だ。シャワーを浴びた後、お祈りをする前に清潔にしておく。

私はイスラム教徒です。イスラム教の一つの教えでは、毎日必ず五回お祈りをしなければいけない。清潔にした後、早く部屋に戻って、時間どおりにお祈りをする。お祈りは時間が決まっています、その間にしなければいけない。できるだけ早くした方がいい。

お祈りしたところで、ガラス窓から外を見る。雨がまだ降っている。もう一週間雨が続けている。テレビの上に置いた写真を見ると、マレーシアにいる家族のことを思い出してしまう。

日本で暮らして忘れられない出来事

私が日本で暮らし始めてからもう二年ぐらい経っている。その二年間の間にいろいろなことを体験した。ときどきおかしいこともあった。もちろん面白いことばかりではなく、苦しいことも結構あった。

急に、去年あった忘れられない出来事を思い出して、そのことのおかしさをこらえる。私はイスラム教に属して、信仰している。どこへ行っても、どの国にいても、どんな状態にあっても、ずっとイスラム教徒であり、宗教の決まりを守って暮らしている。だから大学にいるときもお祈りをしなければならぬ。

どこでもきれいな場所である限り、お祈りができる。広島大学では、お祈りの特別な場所がないから、私は普通、西体育館のシャワー室でお祈りをする。

「はあ……お化けー」

ある日、私はちょっと友だちとおしゃべりしすぎたせいで、お祈りをするのが遅れてしまった。清潔にした後、お祈りをするための特別な白い服を着て、メッカであるカーバを向いてお祈りをした。五分たった後、ちょうどお祈りを終わったところで、二人の学生の声が聞こえた。

一人の学生は私のところへ近づいてきて、友だちと話をしながらシャワーのカーテンを開けてしまった。カーテンを開けたとたんに、私がお祈りの服を着たままのを見て、「はあ……お化け！」と驚いて大きな声を出した。

ああ………しまったね！ 彼女は友だちのところへ走って行って、本当にびっくりしていた。私もびっくりした。でも、おかしかったから、私は笑いだしてしまった。



プロフィール

一九九二年マラヤ大学入学、日本文化研究科、日本留学特別コースで日本語、経済、歴史、数学、英語を勉強しました。文部省試験に合格して一九九四年三月に広島大学へ来ました。

兄弟は七人で三番目です。日本で気に入ったところは、長野の美しい景色と東京デイズニールランドです。

現在日常生活ではあまり困ったことはありませんが、勉強のほうで専門用語などが覚えにくく不安があること、正しい日本語の文法が覚えにくいことです。